

## 駐車場・駐輪場の規模

### ■ 駐車場の想定必要台数の算定

#### 【算定方法】

『建築計画・設計シリーズ 庁舎施設』（市ヶ谷出版社）

○ 「市・区・町役所の窓口事務施設の調査」

○ 「最大滞留量の近似的算定方法」

・ 来庁者駐車場の想定必要台数

= ①窓口部門の最大滞留量 + ②窓口部門以外の最大滞留量

・ 最大滞留量 = ((計画所轄人口 × 対象部門の来庁者率) ÷ 自動車保有率) × 滞留率

① 窓口部門の最大滞留量

= ((75,288 人 × 0.9% ÷ 3.3 人/台)) × 10% ≒ 20.5 台

② 窓口部門以外の最大滞留量

= ((75,288 人 × 0.6% ÷ 3.3 人/台)) × 30% ≒ 41.1 台

来庁者駐車場の想定必要台数

= ①窓口部門の最大滞留量 + ②窓口部門以外の最大滞留量 ≒ **62 台**

※ 現庁舎における駐車台数：54 台（来庁者用）

#### 【算定条件】

○ 計画所轄人口：75,288 人（平成 30 年 7 月 1 日現在の住民基本台帳人口）

○ 対象部門の来庁者率：窓口部門 0.9%、窓口部門以外 0.6%

：「市・区・町役所の窓口事務施設の調査」より

○ 自動車保有率：3.3 人/台

：「統計からみた埼玉県市町村のすがた 2014～2018」の 5 年間平均値

○ 滞留率：窓口部門 10%、窓口部門以外 30%

：「最大滞留量の近似的算定法」より

a. 集中率  $\alpha$ （60 分間集中率）= 30%

b. 窓口部門の平均滞留時間  $T_1 = 20$  分（窓口で 15 分、駐車場との往復 5 分）

c. 窓口部門以外の平均滞留時間  $T_2 = 60$  分（一般駐車場でのデータより）

d. a 及び b より、窓口部門の滞留率は集中率  $30\% \times 20 \text{ 分} / 60 \text{ 分} = 10\%$

e. a 及び c より、窓口部門以外の滞留率は集中率  $30\% \times 60 \text{ 分} / 60 \text{ 分} = 30\%$

**来庁者駐車場の計画台数は 62 台程度を想定**

## ■駐輪場の想定必要台数の算定

- ・駐輪場の想定必要台数は、現状と同様の来庁者用と公用等を計画

※現庁舎における駐輪台数：約 300 台(公用、職員用含む)

### 【参 考】

- 市民アンケートによると、市役所を訪れる手段として、「自転車」と回答した人は、有効回答者数に対して 46.4%
- 「駐輪場が足りない」と回答した人は、有効回答者数に対して 21.4%

**駐輪場の計画台数は 300 台程度を想定**